

## 保健師職能委員長あいさつ

原口 浩美(愛知県津島保健所)

日頃より、愛知県看護協会保健師職能の活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

令和2年度通常総会において、愛知県看護協会保健師職能委員長を受けました原口浩美です。これまで看護協会の会員ではあり続けましたが、ほとんど委員活動等に関わらずに過ぎてきてしまいました。微力ではありますが、一緒に活動する委員と力を合わせて活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応で幕を開け、これまでに経験のない、また刻々と変わる展開に対して、各分野の立場で対象者に寄り添い、保健師の強みを活かしながら活動の工夫をされていることと思ひます。

看護協会の保健師職能委員会の活動においても、今年度は感染予防対策として活動の計画を大幅に変更または中止することとなり、会員の皆様に助けていただきながら進めているところですが、次年度に向けても不透明な状況です。直面しているコロナの課題に対しては、この経験を保健師の各分野間または看護職種間で共有し、あらためて看護職間の連携強化について振り返れば…と考へています。また、先を見据えた保健師の課題として、「地域保健活動を通して、人々の健康と健康なまちづくりを支援するため、常に保健師のあるべき姿に向かつて、より高度な専門性を探究する」ができる「愛知県保健師がめざす姿」につなげていけるような職能委員会の活動になるよう努力していきたいと思ひます。

また、この間、オンラインによる会議や研修の実践を重ねることにより、今後の新たなツールとしての活用の導入のきっかけになりました。新しいものにトライしながら、保健師間のつながりを作るためにも、県看護協会の取組みを有効に活用していきましょう。

## 保健師職能委員会の活動ご紹介

保健師職能委員会では、様々な分野で活躍されている保健師同士が知り合い、互いの活動を語り合う中で顔の見える関係を構築し、委員会・地区支部を中心とした連携ができる活動を計画しております。(令和2年の活動は、コロナ禍をふまえた活動となり、予定変更を余儀なくされたものとなりました。)

### 研修会

- ・「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム～妊娠期から切れ目のない支援のために～」  
令和2年8月29日(土) 13:30～16:00 オンライン研修

### 交流会

- ・中止(新型コロナウイルス感染症対策のため)

### 現在 参加者募集中

### 三職能集会

- ・令和3年2月10日(水) 10:00～15:30 オンラインによる開催
- ・第1部:合同集会  
「新型コロナウイルス感染症との1年間～そのとき現場は動いた～」  
講師:医師 武藤義和(公立陶生病院 感染症内科主任部長)  
「新型コロナウイルス感染症と看護協会のとりくみ(仮)」  
講師:会長 三浦昌子
- ・第2部:保健師職能集会  
「地域における困難事例支援を考へる～コロナ禍での連携を含めて～」  
講師:医師 藤井博之(日本福祉大学社会福祉学科 教授)  
「実践報告」  
講師:保健師 森登志恵(名古屋市熱田区保健福祉センター所長兼福祉部長)



上記QRコードからもお申込み可能です。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期されることが決まるなど、誰もが経験したことのない状況の中、私たち保健師の各領域では感染予防対策を踏まえた活動を行っています。皆さまのご活躍をご紹介します。

## COVID-19の感染防止対策下での大学教育

名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 看護科学 公衆衛生看護学 教授 西谷直子

今年度は、COVID-19の影響で学部教育及び大学院教育が大きく変化しました。それまでの対面授業から、オンライン授業になり、初めて会う学生とも画面を通じてしか語り合えず、相互に違和感を感じるが多かったです。もともと人々是对話して交流することで、親密さを深め、お互いをよく理解することができます。握手や名刺交換などはそのために必要なツールだと考えられます。しかし感染防止対策から考えれば、親密さを深める行動は控えるということになります。保健師実習も学内での実施やオンラインを余儀なくされる場面が多く、看護特有の学びを得るために、教員としては様々な配慮や工夫を凝らしました。それでも看護の対象者と対話し、触れ、支援方法を学びながら得るはずの喜びや技術が充分ではなかったのではないかと危惧されます。このような状況がいつまで続くのか先が見えない中、少しでも保健師活動の意義や特徴、喜びを伝えられるよう、現場の保健師の方々の協力を得ながら実施していきたいと考えています。

## コロナ禍における保健活動

知多市 健康推進課 石川あゆみ

新型コロナウイルスという言葉は初めて聞いた頃は、こんな状況になるとは思っていませんでした。4月に入り県の緊急事態宣言が発表されてからは、一部家庭訪問と電話相談を除きすべての事業を中止・延期することになりました。外出の機会が減り市内の親子はどう過ごしているのか、何かできることはないかと考え、乳幼児健診の対象者と出産を控えたすべての妊婦さんに電話し、少しでも寄り添えるように心がけました。今は、常に「密を避ける」ことに頭を悩ませながら事業を実施していますが、困難を共に乗り越えてきた仲間へ感謝し、「あんなこともあったね…」と思える時が来ることを信じて、これからも一丸となって頑張っていきたいと思います。

## 新型コロナウイルス感染症による結核対策への影響

豊橋市保健所 健康政策課 仲井可奈子

新型コロナウイルス感染症の対応は、保健所内各課で役割分担をし、本庁からの応援も受け、柔軟な体制で対応しています。結核対策への影響は、新型コロナウイルス感染症を疑い受診したところ結核が判明したり、新型コロナウイルス感染症を恐れて接触者健診や管理検診の受診遅れがあったり、患者や家族の職場で初期対応が混同されたこと等です。そのため結核の啓発研修会は中止とせず、感染対策で ZOOM を使用し、結核と新型コロナウイルス感染症の違いについて説明を加えました。全国的には新規結核患者減少が問題視されていますが、本市では昨年患者数を9月時点で超えて増加しています。どの市町村も大変な状況ですが、こんな時こそ寄り合っていきましょう。

## 名古屋市新型コロナウイルスこころのケア相談を実施

名古屋市精神保健福祉センターこころば 主査(支援担当) 上田いせの

名古屋市精神保健福祉センターこころばでは、「名古屋市新型コロナウイルスこころのケア相談」を実施しています。当初は、「マスクが買えない」「外出ができなくてストレスがたまる」「感染の不安」等の相談が多く寄せられました。コロナ禍が長期化するにつれ、「コロナで仕事を失った」「うつ状態が続いている」等、より深刻な相談に変化してきたように思います。まだまだ、先がみえませんが、相談者の気持ちに寄り添った相談を心掛けていきたいと思っています。

『名古屋市新型コロナウイルスこころのケア相談』（電話相談のみ）

平日 8時45分～12時・13時～17時(052-483-2185)

17時～22時(052-212-9780)

名古屋市内に在住、在勤(学)の方が対象（当面、令和3年3月末まで）



こころば公式 twitter を開設し、こころの健康に関する情報等を発信中。  
フォローよろしくお願いします。(@cocolabo758)

## コロナ禍における特定保健指導の取り組みについて

トヨタ自動車(株)安全健康推進部 稲垣光穂

弊社における特定保健指導は、国の基準に沿った形で進めてきましたが、新型コロナ感染拡大とそれに伴う働き方の変化（在宅勤務等）により、従来の対面主流の指導が困難な状況となっています。

そこでインフルエンザも含めた本格的な感染症シーズン前に、全社事務局から「当面、15分以上の対面指導を中止」と宣言し従業員・スタッフの安全に配慮しています。とは言っても支援の全面中止ではなく、オンラインを活用した指導や、特定保健指導に拘らない形式で現在も従業員への健康支援を継続しています。初回支援用の講話や運動実技の動画等、新たな支援ツールの提供も始めています。

次年度の運用については現在検討中ですが、対象の優先順位を見極め、より効果が出せる保健指導の在り方について引き続き模索していきたいと考えています。

▼作成動画の一例



【研修会報告】令和2年8月29日(土) 13:30~16:00 オンライン研修 参加者数:32名

## 「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム

～妊娠期から切れ目のない支援のために～

今回の研修会のねらいは、妊娠期から子育てまでの切れ目のない効果的な支援を実現するために、必要な施策について理解、医療的ケア児の取り組みの先進事例を知ることにより、効果的かつ効率的な支援に繋がるとともに、医療機関の連携について学ぶというものでした。

研修会では、始めに、東海市市民福祉部健康推進課 柘植由美様から、東海市における妊産婦と子育ての支援の取り組み、産前のデイサービス型「ベビーサロン」、産後のアウトリーチ型「子育てサポーター訪問」利用者の安心につながるサポート事業を紹介いただきました。続いて、あいち小児保健医療総合センター 秋津佐智恵様より、妊娠期からの切れ目のない医療的ケア児の先進的な支援について、具体的事例を通して、保健師の役割、多職種との連携、現在進行形の医療的ケア児の在宅療養上の課題についてご紹介いただきました。保健師として本人や家族の思いに耳を傾け寄り添い、一つ一つの課題を丁寧に取り組むことが、新たな制度や体制への大切な一歩であることを学ばせていただきました。最後に愛知県福祉局障害福祉課の大谷美咲様より、医療的ケア児等コーディネーターの役割と配置状況を情報提供いただきました。

講師の皆様のご講演により、切れ目なく続く支援の現状、課題、連携の大切さ理解することが出来る良い研修会となりました。

### ～ 看護職賠償責任保険制度 ～

日本国内の行政や事業所で保健師が行う業務によって、他人の身体や財産に損害を与えたり、人格権を侵害したため、法律上負担しなければならない損害賠償責任を保証します。保障は法律上の損害賠償金の他、弁護士報酬等の争訟費用も補償します。

こんな時のために・・・

- 訪問先で、うっかり物を破損してしまった
- 相談者との面接で、名誉を傷つけられたと訴えられた
- 運動指導で、参加者が転倒しけがをってしまった

日本看護協会会員だけが加入できる保険制度。  
詳しくは看護協会へお問い合わせください。

### 保健師会員募集中!!

～令和3年度の会員入会を受付けています～

愛知県看護協会は、看護職の職能団体です。そのうち保健師の会員数 586 名(令和2年11月30日現在) 看護協会では、保助看の看護職が各専門性を発揮しつつ安心して働き続けられるように環境づくりを検討したり厚生労働省とコミットした活動を実施しています。地域包括ケア推進のために愛知県看護協会地区支部では、看護職間の連携に取り組んでいます。様々な部署で働く保健師間での勉強会も開催しています。

行政で働く保健師さん！  
企業で働く保健師さん！  
病院で働く保健師さん！  
福祉で働く保健師さん！



多くの皆さまの加入をお待ちしています。  
未加入の方に、是非お声をかけてください。

<愛知県保健師職能委員>

原口浩美、佐藤かおり、草田怜美、家田ありさ、半田裕子、小池直子

<担当理事>

和久田月子



★編集後記★ 新たな生活様式への変化を求められる中、今までと「変わらずに続けること」の意義や目的を振り返り、新たな発見をする1年でした。先の見えない状況の中、慌ただしい日々をお過ごしの皆様のお役に立てることができるよう、職能委員一同にて事業計画を進めてまいります。本情報誌作成にあたり御協力頂きました皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。(小池)